



# 高石小学校だより

『 たくましい子・かっこいい子・いよくのある子・やさしい子 』



2020.  
11.17  
NO.28.  
文責：弘瀬

## ～道徳参観日・講演会(堀内佳コンサート)～

11月15日(日)の参観日にはたくさんの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。



1年「きゅうしょくとうばん」【勤労・公共の精神】

3時間目は、2・4・6年の道徳の授業、4時間目は1・3・5年の道徳の授業を参観していただきました。道徳は毎週1時間、年間35時間の学習の積み重ねです。教科書や教材を使って、自分を見つめたり、友達を知ったり、また社会での出来事に関心を寄せたりと毎時間意見を出し合いながら学んでいます。各学年の発達段階に応じた道徳的価値を学校生活や地域

で考え、実践できることをめざしています。今回の授業はいかがでしたか。今日の学習の内容についてご家庭でも話題にして話を深めることで子どもたちの意識もさらに変わってくるかと思えます。ご家庭の話の様子など聞かせて下さい。



4年「泣いた赤おに」【友情・信頼】

午後からは堀内佳さんによる「しあわせってなんだろう？」の講演会でした。美しいメロディーとギターの色、心にしみる歌詞を包み込むような深い歌声を聞かせていただきました。

子どもたちが一番反応したのはテレビのCM曲やナレーションでしたが、土佐市で働いていたことのある堀内さんが市政50周年の時に作った『みんなが会える町TOSA』の曲は明るい素敵な曲でした。堀内さんが病気で入院し、市長さんが堀内さんの退院を「待とう」と言うことができたというお話を聞くと、堀内さんがどんな状況でもみんなに生きる希望を伝えてきたシンガーソングライターとしての生き方に重なりました。いつもなら全国にコンサートで回っているそうですが、今年はコロナで中止が相次いでいるそうです。ぜひ地元高知でもっと堀内さんの演奏を聴く機会があればいいですね。



ギターを独特の持ち方で弾く堀内佳さん

堀内さんは生まれた時から全盲だったそうです。保育園の時、母から「人をいじめる側の人間にならないように。」と教えられたこと。父からは「障がい者として生きるな。一人の人間として思いきり生きてみろ。」と言って厳しく海や川、山へ連れて行かれて鍛えられたこと。そして、土佐市の病院で働いていた時に会った『徳弘のおじいちゃん』の曲では、おじいちゃん、ご家族と堀内さんとの温かい交流のお話に涙が出ました。

最後に堀内さんから子どもたちへ「今の自分を認めてそのままの自分を好きになって。自分が一生懸命頑張ってきたことを認めて自分のことを好きになって。」とメッセージをもらいました。今の自分を認めるということはしんどかったり、ごまかしたりしたい気持ちになることがあります。でも自分を育てるのは自分で、その時々に出会った人から学んだことや挑戦してみたことが自分づくりにつながるといことですね。「レッツ チャレンジ!」でがんばりましょう。

## ～高石Tシャツアート展開催(15日～19日)～

講演会終了後、運動場で『高石Tシャツアート展』開催のセレモニーを行いました。PTA会長坂本さんから今年のコロナ禍の中、PTAからTシャツアート展が提案され、開催することになった経緯についてお話がありました。9月に子どもたちが描いた絵を家庭でプリントし、そのTシャツを今年の運動会で全員が着て競技したこと。そして、今朝全員のTシャツを展示し、19日(木)まで『高石Tシャツアート展』を開催するに至ったことなど、すべてが皆様の協力によって実現したことへの感謝の言葉でした。最後にまぶしい陽光の中、堀内佳さんにも入っていただき、みんなで記念写真をとりました。



返信 ( ) 年 ( ) 組 保護者名 ( )